

## —編集後記—

ここに127号をお届けします。みなさまのお手元に到着するのは盛夏の頃の予定ですが、これを書いているのは、まだ6月。冷夏予測が出たと思ったら、全国各地で30度越え（北海道が日本全国で最高の気温をマーク！）、梅雨入りとともに関東での連日の豪雨等々、気象関係のニュースが続いています。私の暮らす処では、天気予報の雨マークは点いては消え、点いては消えの繰り返しで、播いた種の芽の出が悪くなる、と、はらはらしながら空を見上げています。

土壌物理の知見が役に立つ場面は様々にあることと思いますが、農地で出会う人と話をしていると、予想外の天気への対応力を土に、特に物理性に求めているのだなと感ずることがあります。講じた対策は理に適っているか、あるいは、よい回避策はないかと問われるとき、『土壌の物理性』の論文や記事に重要な示唆を見つけることが多々あり、大変ありがたい学会誌だと思ってきました。その編集委員となりましたが（恐縮しています）、初仕事

の感想は、著者と読者の真摯な姿勢と熱意に圧倒されたということに尽きます。掲載された論文はクールですが、その裏では、著者と読者の間のアツいやり取りがありました。これまで他に編集委員の経験がないため、何れの学会誌でもそうであるのか、『土壌の物理性』の特徴なのか、はたまた、担当した論文が偶々であったのか判断できませんが、これまで私がありがたいと頼ってきた文献にもきつと同じような過程があったであろうと想像しています。圧倒されるばかりの編集委員では困ると思われるかもしれませんが、どうぞご安心ください。頼もしき編集委員長と編集幹事が、新米編集委員を見守り、ときに助言・指導もしながら、この学会誌全体を編み上げていることも体験からご報告します。

冷夏か暑夏か平年並みかわかりませんが、この夏のみみなさまの健康をお祈りします。

中野恵子（編集委員）

### 土壌物理学会

事務局構成	会長	溝口 勝	(東京大学)	
	副会長	吉川 省子	((独) 農業環境技術研究所)	
	庶務幹事	吉田 修一郎	(東京大学)	
		西村 拓	(東京大学)	
	会計幹事	西田 和弘	(東京大学)	
	編集幹事	渡辺 晋生	(三重大学)	
	会計監査	吉迫 宏	((独) 農業・食品産業技術総合研究機構)	
		亀山 幸司	((独) 農業・食品産業技術総合研究機構)	
	編集委員会	委員長	取出 伸夫	(三重大学)
			江口 定夫	((独) 農業環境技術研究所)
委員		小杉 賢一朗	(京都大学)	
		齊藤 忠臣	(鳥取大学)	
		千葉 克己	(宮城大学)	
		釣田 竜也	((独) 森林総合研究所)	
		中川 啓	(長崎大学)	
		中野 恵子	((独) 農業・食品産業技術総合研究機構)	
		橋本 洋平	(東京農工大学)	
		宮本 輝仁	((独) 農業・食品産業技術総合研究機構)	